

中部ガッツリーグ（CGL）第1節

日 程：2026年4月26日（日）

会 場：国営木曾三川公園 桜堤サブセンター（岐阜県羽島市桑原小藪）
TEL：0567 - 97 - 8722

主 催：一般社団法人愛知県フライングディスク協会

参加費：2000円/一人（令和8年度JFDA会員の場合）
3000円/一人（非会員の場合）

※大会受付時にチーム毎に現金でお支払いいただきます。

申込期日：4月20日（月）まで

※申込期日を超えての申込については対応いたしません。

スケジュールについて

9時 集合

9時30分 開会式

9時45分 試合開始

15時30分 表彰式、閉会式（予定）

大会成立：3チーム以上の申込あるいは15名以上の申込がある場合。

※3チーム以下、15名以下の申込となる場合は練習会として開催いたします。

申込方法：申込フォームをダウンロードし、メールにてお申込みください。
個人エントリーも受付いたします。

申込先：info@aifda.or.jp

【その他の注意事項として】

- ・ゴミは各自で持ち返る事
- ・公園内での火気は厳禁です。

【大会時における注意事項として】

- ・今大会では通常のガッツとはルールが異なる部分がありますので2ページ目の【今大会におけるチーム編成についてとそれに付随するルールについて】をご確認ください。
- ・予選リーグとトーナメントと行います。（各チーム人数における得点の上限は、15点・12点・10点です。）1セット取りきりです。
- ・スイッチ（チェンジコート）は得失点の合計8点です。

【今大会におけるチーム編成とそれに付随するルールについて】

昨今における本大会への参加人数の少なさを鑑みて、今大会では試験的にチーム人数についてのルールを設けて開催することといたしました。また、本大会終了後にはアンケートを行いますのでご協力ください。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

チーム編成について：今大会ではチーム人数について3つございます。1人チーム・3人チーム・5人チームの枠があります。チーム事情に合う人数で参加申し込みください。以下にてチーム人数に付随するルールについて記載されていますのでご確認ください。

○1人チームについて

- ・試合に出るのは1人のみ（センターの位置）です。ただし、この選手の他、控え選手としてその他1人を控えとしてチームメイトとして加える事が出来ます。
- ・得点の上限としては10点までです。その得点がとられたら負けとなります。
- ・ディフェンス時に相手のスローがサイドアウトとなった場合、点数は動きませんがエーススローワーを試合に出ている人と控え選手とで選択することが出来ます。（オーバー・ショットにおいては通常ルールと同様に得点が動きます。）
- ・先行でオフェンスを選択した場合、最初のスローワーについては控えを含めた2名の内どちらかとなります。先行でオフェンスを行い、その後のディフェンス時に控えに戻ることは可能です。
- ・各試合につき、1回のみスイッチ（コートチェンジ）する権利を持ちます。

○3人チームについて

- ・1人まで控え選手を置くことが可能です。
- ・得点の上限としては、12点となります。その得点が取られたら負けとなります。

○5人チームについて

- ・控え選手については特に制限はありません。
- ・得点の上限としては15点となります。その得点を取られたら負けとなります。

【試合における時間制限について】

本大会は円滑な大会運営を行うため、一回当たりの試合時間を30分とする。30分が経過した段階で同点の場合は先に得点をしたチームの勝利とする。ただし、決勝戦に限りこのルールは適用されないものとする。

○1人制・3人制・5人制における試合について

【5人制vs3人制について】

- 5人制側は3人へチームメンバーを変更することが出来る。ただし、試合に参加するメンバーは3人のみとなり控え選手は試合に参加することが出来ない。
- 5人制側は相手（3人制側）に対し、『選手を2名まで派遣し、5人vs5人の試合をすること。』を提案することが出来る。その提案が承諾された場合、提案を受けた側が選手を2名まで選ぶことができ、その試合に限りそのメンバーで試合を行うことが出来る。
- 3人制側は相手（5人制側）に対し、『選手の派遣を2名まで依頼し、5人vs5人の試合をすること。』を提案することができる。その提案が承諾された場合、提案を受けた側が派遣をさせる選手を2名まで選び、試合を行うことが出来る。

【5人制vs1人制について】

- 5人制側は3人または1人へとチームメンバーを変更することが出来る。ただし、試合に参加するメンバーは3人または1人のみとなり、控え選手は試合に参加することが出来ないものとする。
- 5人制側は相手（1人制側）に対し、『選手を4名（2名）まで派遣し5人vs5人（または3人vs3人）の試合をすること。』を提案することが出来る。その提案が承諾された場合、提案を受けた側が選手を4名（2名）まで選ぶことができ、その試合に限りそのメンバーで試合を行うことが出来る。
- 1人制側は相手（5人制側）に対し、『選手の派遣を4名（2名）まで依頼し、5人vs5人（または3人vs3人）の試合をすること。』を提案することが出来る。その提案が承諾された場合、提案を受けた側が派遣をさせる選手を4名（2名）まで選び、試合を行うことが出来る。

【3人制vs1人制について】

- ・3人制側は1人へとチームメンバーを変更することが出来る。ただし、試合に参加するメンバーは1人のみとなり、控え選手は試合に参加することが出来ないものとする。
- ・3人制側は相手（1人制側）に対し『選手を1名派遣し、3人vs3人の試合をすること。』を提案することが出来る。その提案が承諾された場合、提案を受けた側が選手を1名選び、その試合に限りそのメンバーで試合を行うことが出来る。
- ・1人制側は相手（3人制側）に対し、『選手の派遣を1名依頼し、3人vs3人の試合をすること』を提案することが出来る。その提案が承諾された場合、提案を受けた側が派遣する選手を1名選び、試合を行うことが出来る。

【CGLにおける得点制度について】

- ・本大会は年度内にて1～3回ほど行われる予定であり、大会ごとでの成績や勝敗によってチームと選手へ得点が与えられる。
- ・年度内にて最も得点の多いチーム・個人に対しては年度内最後のCGL終了後に表彰をする。

（得点規定）

○チームに対して

- ・試合に勝利するごとに1点が与えられる。尚、敗北に係る得点の変動はない。
- ・優勝で3点、準優勝で2点そのチームに与えられる。

○個人に対して

- ・試合に勝利するごとに1点が与えられる。尚、敗北に係る得点の変動はない。
- ・優勝で3点、準優勝で2点が個人に与えられる。
- ・チームの移動があり、その移動先のチームが勝利した場合でもその移動した個人へは1点が与えられる。
- ・その大会内に限り、移動したことのあるチームが優勝または準優勝となった場合、その成績で得られる得点をその移動した個人は得ることが出来る。